

平成28年度朝霞市一般会計当初予算のポイント

いきいき朝霞宣言

「笑顔に出会うまち・朝霞」

▽平成28年度当初予算額 382億5,000万円
(前年度比13億円、3.5%の増額)

▽固定資産税の増加などにより、
市税が0.9%増の212億670万1千円

▽子どものための教育・保育給付負担金などにより、
民生費が5.7%増の190億7,267万8千円

主な新規・重点事業については下記のとおりです。

(1) 新規事業

○地域防災リーフレット作成事業 3,791千円
(P82・83)

- ・平成27年度実施の地域防災タウンウォッチングにより確認された災害時に役立つ施設や場所、浸水想定区域、土砂災害警戒区域の学校区ごとの地図及び災害への備え等を掲載した地域防災リーフレットを作成します。

担当：危機管理室

○防犯カメラ設置工事費補助事業 3,000千円
(P84・85)

- ・地域における犯罪の抑止等を目的として、地域の実情に応じて、防犯カメラを新規に設置する自治会等に対して補助を行います。

担当：危機管理室

○市制施行50周年記念式典事業 4,893千円
(P84~87)

- ・平成29年3月15日、市制施行50周年を迎えるにあたり、市政発展にご尽力いただいた方々に対して感謝の意を表すことにより、郷土愛の醸成を図り、市政についての関心や理解を更に深めていただくため、平成29年度に「市制施行50周年記念式典」を挙行いたします。平成28年度はその実施のための準備を行います。

担当：人権庶務課

- オリンピック・パラリンピック事業 1, 272千円
(P88~91)
・2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の射撃競技が陸上自衛隊朝霞訓練場で開催されるため、機運を醸成する事業等を実施します。
担当：政策企画課
- 市制施行50周年記念事業 2, 672千円
(P90・91)
・平成29年3月15日に市制施行50周年を迎えるため、記念事業の企画・運営等を検討し、併せて、さまざまなPR活動を行い、朝霞の魅力を広く発信します。
担当：政策企画課
- 住民票等コンビニ交付事業 7, 300千円
(P100・101)
・個人番号カードを使用して、住民票等の証明書をコンビニエンスストアで取得できるシステムを構築します。
担当：総合窓口課
- 日本手話言語条例施行に伴う事業 2, 000千円
(P148・149)
・日本手話言語条例（平成27年9月24日制定）が平成28年4月1日に施行されることに伴い、講演会の実施や、周知用チラシの作成、配布など各種施策を実施します。
担当：障害福祉課
- 障害者ふれあいセンター事業 118, 594千円
(P148~151)
・増加する特別支援学校の卒業生に対応するため、障害者多機能型施設を開設し、指定管理事業として通所系障害福祉サービス事業（生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型）を行います。
担当：障害福祉課
- 放課後児童クラブ整備費補助事業 15, 200千円
(P184・185)
・新たに放課後児童クラブを実施する民間事業者に対して、開所に必要な施設の整備費用等の補助を行います。
担当：保育課

- 生活困窮者学習支援事業 8,850千円
(P190・191)
・生活困窮者自立支援制度の任意事業として、生活困窮など（生活保護受給者を含む）により、学習が進んでいない中学生・高校生を対象に、本人及び保護者に対して家庭訪問を実施します。また、居場所づくりや高校への進学および高校中途退学防止のための学習教室を開催します。
担当：福祉課

- 乳がんグローブ配付事業 1,000千円
(P206・207)
・自己検診法の知識の普及啓発を図り、乳がんの早期発見や検診の受診率向上のため、集団検診やイベント等において、乳がんグローブの配付を行います。
担当：健康づくり課

- 都市計画基礎調査及び都市計画決定等事業 29,592千円
(P258・259)
・都市計画法に基づく都市計画に関する基礎調査を実施します。また、基地跡地地区地区計画や朝霞第四小学校跡地周辺等における都市計画（用途地域、高度地区、地区計画等）の変更等に必要な検討及び手続きを行うため、現況調査や図書の作成等を実施します。
担当：まちづくり推進課

- 学校給食調理業務委託事業 20,091千円
(P314～317)
・より効果的、効率的な給食運営を図るための手法として、朝霞第五小学校自校給食室において平成28年9月（2学期）から学校給食調理業務の一部を民間事業者へ委託します。献立作成や食材購入等は今までどおり市で行います。
担当：学校給食課

（2）拡充事業

- 防犯灯維持管理費補助事業
町内会等防犯灯維持管理費補助金10,165千円のうち2,360千円
(P84・85)
・自治会等が維持管理している防犯灯に係る費用について、1灯当たりの灯種別に定額を補助していましたが、平成28年度から、1年間に支払った電気料金の4/5を補助する定率制に変更し、自治会等の負担の軽減を図ります。
担当：危機管理室

○地域保健福祉活動振興事業費補助事業 1,700千円
(P138~141)

- ・地域における保健福祉活動の振興を図るため、在宅保健福祉等の普及・向上、健康づくり及び生きがいつくりの推進、ボランティア活動の活性化のための事業活動を、実施・計画している各種民間団体に対し、補助を行います。

担当：福祉課

○重度心身障害者医療費支給事業

重度心身障害者医療給付費242,029千円のうち14,400千円
(P144~147)

- ・低所得の世帯に対する経済的負担の軽減を図るため、重度心身障害者の医療費の支給制度において、入院時食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を、市の単独事業として、市町村民税が非課税又は条例の規定により免除されている世帯に対し支給します。

担当：障害福祉課

○難病患者見舞金支給事業

難病患者見舞金23,800千円のうち5,950千円
(P144~147)

- ・埼玉県特定疾患等医療給付事業実施要綱に基づく特定疾患医療受給者証を有する難病患者に対して支給する見舞金を、年額1万5千円から2万円に増額します。

担当：障害福祉課

○敬老事業

(P164~167)

1,794千円

- ・77歳、88歳、99歳、100歳の方を対象に、記念式典と余興の2部構成からなる敬老事業を実施します。また、長寿を祝う主旨に鑑み、記念式典においては、市民による敬老祝賀の演奏等も取り入れます。

担当：長寿はつらつ課

○こども医療費支給事業

こども医療給付費516,194千円のうち126千円
(P170~173)

- ・低所得の世帯に対する経済的負担の軽減を図るため、こども医療費の支給制度において、入院時食事療養標準負担額を、市の単独事業として、市町村民税が非課税又は条例の規定により免除されている世帯に対し支給します。

担当：こども未来課

○ひとり親家庭等医療費支給事業

ひとり親家庭等医療給付費49,580千円のうち147千円
(P172・173)

- ・低所得の世帯に対する経済的負担の軽減を図るため、ひとり親家庭等の医療費の支給制度において、入院時食事療養標準負担額を、市の単独事業として、市町村民税が非課税又は条例の規定により免除されている世帯に対し支給します。

担当：こども未来課

○私立保育園就園費等補助事業

私立保育園就園費等補助金2,240千円のうち126千円
(P184・185)

- ・子育て世帯に対する経済的負担の軽減を図るため、私立保育園等の園児の入園料及び保育料を対象経費とする就園費等補助金を3万1千円から3万3千円に増額します。

担当：保育課

○放課後児童クラブ定員拡充事業

放課後児童クラブ指定管理料440,772千円のうち60,813千円
(P184・185)

- ・小学校の教室等を活用して、放課後児童クラブの定員を拡充することにより、入所を希望する小学1年生から3年生までの児童を受け入れます。

担当：保育課

○私立幼稚園就園費等補助事業

幼稚園就園費等補助金23,232千円のうち1,014千円
(P186・187)

- ・子育て世帯に対する経済的負担の軽減を図るため、幼稚園の園児の入園料及び保育料を対象経費とする就園費補助金を3万1千円から3万3千円に増額します。

担当：保育課

○地域リサイクル活動推進補助事業

地域リサイクル活動推進補助金15,400千円のうち4,400千円
(P218・219)

- ・再利用できる資源を回収する団体に補助金を交付し、対象有価物の補助金交付額を1kgあたり5円から7円に増額します。

担当：資源リサイクル課

○ふれあい推進事業補助事業

ふれあい推進事業補助金1,250千円のうち750千円

(P282・283)

- ・中学校区ごとに組織するふれあい推進実行委員会に対して、事業を計画・実施するための補助金を10万円から25万円に増額します。

担当：教育指導課

○プラネタリウム番組ソフト制作事業

3,888千円

(P338~341)

- ・市制施行50周年を記念した番組を作成することで、市民の郷土への愛着や、天文学や自然哲学への興味・関心の醸成や知識向上への一助とします。

担当：中央公民館

(3) 計画策定事業

○高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定事業

4,208千円

(P154・155)

- ・市が3年ごとに定める高齢者福祉計画・介護保険事業計画について、平成28年度から平成30年度の継続事業で、平成30年度から平成32年度までの第7期計画を策定します。

担当：長寿はつらつ課

○基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画策定事業

6,091千円

(P266・267)

- ・平成27年12月に国へ提出した朝霞市基地跡地利用計画の内容を踏まえ、平成28年度から平成29年度の継続事業で、基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画の見直しを行います。

担当：みどり公園課

(4) 普通建設事業

○旧憩いの湯解体事業

142,371千円

(P70・71)

- ・平成18年4月に営業を中止した旧憩いの湯について、市有資産の有効活用を図るため、建物の解体工事を実施します。建物の解体工事のほか、工事期間中に周辺家屋への影響がないか確認するための調査委託を行います。

担当：財産管理課

- 防災行政無線デジタル化整備事業 79,193千円
(P80~83)
・電波法改正に伴い、平成28年度から平成32年度の継続事業で、防災行政無線（市役所設置の親局、市内95か所設置の子局）をアナログ方式からデジタル方式へ整備します。
担当：危機管理室
- 市民会館耐震化事業 24,648千円
(P124・125)
・平成28年度から平成30年度の継続事業で、市民会館（新館を除く）の、耐震補強工事に向け、平成28年度は実施設計を行います。また、市民会館ホール天井について、非構造部材耐震補強工事に向け、平成28年度は基本設計及び実施設計を行います。
担当：地域づくり支援課
- 朝光苑施設改修事業 7,471千円
(P166・167)
・特別養護老人ホーム朝光苑において、旧館部分屋根改修工事を実施します。
担当：長寿はつらつ課
- （仮称）センター児童館建設事業 9,830千円
(P174・175)
・平成28年度から平成31年度の継続事業で、本町・栄町地区内に（仮称）センター児童館を設置します。平成28年度は基本設計を行います。
担当：こども未来課
- 健康増進センター施設改修事業 3,800千円
(P212・213)
・健康増進センターの施設設備の冷温水発生機交換及びチラー改修工事を実施します。
担当：健康づくり課
- 黒目川桜並木健康遊具等設置事業 10,595千円
(P254~257)
・黒目川まるごと再生プロジェクトにより整備された遊歩道を、利用者により快適に利用していただくため、近接する広場等に健康遊具等を設置します。
担当：道路整備課

○北朝霞陸橋改修事業 5,000千円
(P256・257)

- ・橋梁長寿命化計画に基づき、北朝霞陸橋のコンクリート剥落防止工事を実施します。

担当：道路整備課

○観音通線整備事業 475,084千円
(P260・261)

- ・第四中学校入口交差点から国道254号までの区間について、平常時の渋滞緩和や通学児童等の歩行者・自転車の安全確保とともに、地震災害時には緊急輸送道路として機能することを目指し、平成28年度は用地買収及び建物移転交渉を進めます。

担当：まちづくり推進課

○公園施設長寿命化対策事業
開設公園改修工事35,000千円のうち30,000千円
(P264・265)

- ・平成26年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、事故を未然に防止し、安全で安心して市民が利用できる公園づくりを推進するため、都市公園内の遊具や施設の改修工事を実施します。

担当：みどり公園課

○道路安心・安全緊急改良工事 3,000千円
(P272・273)

- ・危険な通学路や交差点などにおいて、交差点クロスマークやベンガラ舗装等の交通安全対策を実施することにより、安心して通行できる道づくりを進め交差点での交通事故の減少に努めます。平成25年度から平成29年度の5年間実施し、平成28年度は20か所を予定しています。

担当：まちづくり推進課

○消防団詰所改築事業 5,263千円
(P278・279)

- ・消防団第5分団詰所の老朽化に伴い、平成28年度から平成29年度の継続事業で、消防団本部を併設した詰所の改築工事を実施します。平成28年度は、実施設計を行います。

担当：危機管理室

○北朝霞公民館トイレ配管改修事業 4,681千円
(P348・349)

- ・北朝霞公民館のトイレ配管の修繕を実施します。

担当：中央公民館